

BRICs物流事情調査 報告書「ブラジル物流事情調査」が、完成近づく

国際交流委員会

国際交流委員会では近年BRICs諸国に物流事情調査団を派遣し、平成18年度からインド、ロシア、中国を調査してきたが、平成21年度はBRICsの「B」であるブラジルを昨年10月に調査した。ブラジルは、世界の5番目に広い国土に、同第5位の人口(約1億9400万人)を有し、鉱物資源、コーヒーや食糧および石油を輸出している。'08年のGDPでは、世界第10位の経済大国と成り、G20のメンバーでもある。この様な大国の中で日系企業が進出している地域である、サンパウロ、リオデジャネイロ、マナウスを調査し、港湾事情、通関事情その他を1冊の報告書にまとめた「ブラジル物流事情調査」が、3月に完成する。会員各社に1冊を送付するとともに、フォーディング委員会のアセアン報告会と合同で、3月25日には東京で、30日には大阪で物流事情報告会を催す。会員のブラジルに関する知識向上の一助となれば、幸甚である。

(目次)

はじめに	(3) RECOF制度(仮想保税工場システム)
出張調査マップ	(4) 中古機械設備の輸入
本調査の目的	(5) 一時(テンポラリー)輸入 (6) 保税保管方式
第I章 ブラジルの概況	8. 罰則
1. ブラジルの経済概況	(1) 輸入ライセンスの船積後の取得
(1) インフレの状況 (2) 現在の経済概況	(2) NCM番号の誤謬による罰金
2. ブラジルの貿易概況	(3) 船社マニフェスト内容の訂正
(1) 輸出 (2) 輸入 (3) 対日貿易	9. 通関におけるトラブル
3. BRICsの中のブラジル	第IV章 トラック輸送事情
(1) BRICsの存在感 (2) BRICsのポテンシャル	1. ブラジルのトラック輸送事情
(3) ブラジルの強み	(1) 舗装状況 (2) 車検 (3) 頻発する強盗
第II章 港湾事情	(4) 貨物保険 (5) 輸送の手配
1. 日本・アジア/南米東岸向け航路	(6) 過積載の取り締まり
2. ブラジルと南米大陸を横断する新交通網	2. 国道運営権使用許可プログラム
3. ブラジルの港湾概況	3. 各エリアの道路マップ
(1) ブラジルの港湾 (2) 港湾の基本政策	第V章 鉄道事情
4. 各港湾の概況	1. ブラジルの鉄道事情
(1) サントス港 (2) リオデジャネイロ港 (3) マナウス港	2. 鉄道輸送量の推移
(4) その他の港湾 (5) ブラジル港湾の問題点	3. 鉄道政策の動向
第III章 ブラジルにおける輸出入制度	(1) 南北鉄道 (2) 東西統合鉄道
1. ブラジルの貿易関連システム	(3) 南米大陸横断鉄道構想
(1) ブラジルの貿易システムの変遷	4. 鉄道ネットワークの阻害要因
(2) RADAR(輸出入業者登録業務)	5. 各鉄道会社の詳細(一部)
(3) SISCOMEXによるオンライン業務内容	第VI章 航空事情
2. メルコスール共通分類番号(NCM番号)	1. ブラジルの航空輸送概要
(1) メルコスール共通分類番号(NCM番号)の構成	2. 空港
(2) NCM番号の品目振り分け	3. ビラコボス国際空港
3. ブラジルの輸出入における諸税の種類	4. 主要な航空会社
(1) 連邦祖税 (2) 州税	5. ブラジル航空輸送の問題点
(3) IPI, PIS/COFINS, ICMSの非累積性	6. 各空港の取扱量詳細
(4) 輸入にかかるコスト計算例	第VII章 マナウス
4. 輸出手続きの概要	1. マナウス・フリーゾーンの恩典策
(1) 一般的な輸出手続きの流れ	(1) 輸入税の減免措置
(2) 輸出奨励に関する恩典策	(2) IPI(工業製品税)の免除
5. 輸入手続きの概要	(3) ICMS(商品流通サービス税)の減免措置
(1) 一般的な輸入手続きの流れ	(4) PIS/COFINS
6. 通関および保税制度の仕組み	(社会統合基金/社会保険融資納付金)の減免措置
(1) 輸出入通関の区分	(5) PEXPAM制度
(2) ファーストゾーン(First Zone)	(6) 恩典を受ける場合の手続きの流れ(輸入)
(3) セカンド・ゾーン(Second Zone)	2. マナウスの物流
(4) ファーストゾーンとセカンドゾーンの選択	(1) バージ&トラック (2) 内航船 (3) 航空
(5) 輸入通関のリードタイム (6) Linha Azul	(4) 太平洋側への輸送経路
7. 減免税手続	3. ヘゼンデ保税倉庫(Resende)
(1) EX-Tarifarioによる減税システム	4. ベレンを基点とした物流網の可能性
(2) Drawback制度	

おわりに